



議会だより

おお ほん さく や

今回の題字は、大番朔弥さん（船佐小学校6年生）です。



健康フェスタ2018 みんな笑顔で長生きしようやあ

6月定例会 2~3

29年度政務活動費 14

常任委員会報告 4~7

30年7月豪雨災害 16~17

一問一答
10人が市政を問う .. 8~13

あんなこんな
地域のかがやき 18



安芸高田市
市議会のページ

可
決

可 愛 小 学 校 事 既 存 校 舎 改 修 工 事

既存校舎を新しく統合校舎として
31年4月1日「愛郷小学校」開校
学級数 9 学級、児童数 213 人に (30年5月1日現在)

小学校統合
に向けて

6月定例会

6月定例会を6月11日
～26日までの会期で開催
しました。

一般会計、特別会計な
ど3会計の補正予算は、
予算決算常任委員会へ付
託しました。

(補正予算審査は4ペー
ジに掲載)

各常任委員会では、付
託された議案審査や所管
事務調査を実施しました。
(各常任委員会の審査は
5～7ページに掲載)

本定例会において付議
された15議案について、
いずれも原案のとおり可
決しました。

一般質問では、10人が
市政を問いました。
(8～13ページに掲載)

議案第52号

○財産の取得について
小型除雪車 (JR三江線
の代替交通運行路線の
適切な除雪を行い、運
行に支障が生じること
を防ぐ目的)

■質疑

金行 設置場所は。
蔵城建設部長 船木ゆめ
広場の市有車庫に予定し
ている。

■採決

全員賛成

議案第57号

○工事請負契約の締結に
ついて
可愛小学校既存校舎改
修工事

■質疑

玉重 地元企業への依頼
状況は。
蔵城建設部長 できるだけ
市内業者者に下請けを依
頼するよう指導している。

■採決

全員賛成

■質疑

青原 土地について地元
との協議は。
杉安総務部長 八千代町
時代より企業誘致のため
の土地であり、地元雇用
も進めることで理解いた
だいた。

■質疑

熊高 処分価格の算定根
拠は。
青山産業振興部特命担当
部長 不動産鑑定を行い、
解体撤去費を控除した価
格。

■採決

全員賛成

議案第56号

○工事請負契約の締結に
ついて
(仮称) 甲田児童クラ
ブ・甲立地域交流セン
ター新築工事

児童クラブ登録数
121人

■採決

全員賛成

議案第58号

○財産の処分について
八千代町佐々井字五郎
丸7筆

面積 6453㎡
処分価格 5445万円
相手方 南条装備工業
株式会社



議会改革
特別委員会

改選に向けて 議員定数のあり方を考える

設置

目的： 議員定数のあり方についての調査

内容： 全国的な定数の動向調査、定数変更によるメリット・デメリットの調査、常任委員会構成の調査、市民への意見聴取などを行い、議会だより・ホームページにて報告。

委員構成： 委員長 塚本 近 副委員長 山本 優
 委員 新田 和明 芦田 宏治 児玉 史則
 大下 正幸 穴戸 邦夫 青原 敏治



本会議の議決風景

■**専決処分した
事件の承認（3件）**

■29年度安芸高田市一般
会計補正予算(第7号)
専決処分年月日
30年3月30日

承認

■安芸高田市税条例等
の一部を改正する条例
専決処分年月日
30年3月31日

■**質疑**

■**金行** 本市における影響
は。

■**広瀬市民部長** 33年度か
らの非課税措置の所要
件の引き上げに伴い、市
は約200万円の減収と
なる。

承認

■安芸高田市国民健康保
険税条例の一部を改正
する条例
専決処分年月日
30年3月31日

承認

■**同意（1件）**

公平委員会委員の選任
泉 憲始 さん
高宮町来女木

同意

■**発議（2件）**

○地方財政の充実・強化
を求める意見書につい
て

■**全員賛成**

○教職員定数の改善及び
義務教育費国庫負担制
度拡充に係る意見書に
ついて

■**全員賛成**

※国の関係機関へ提出する。

予算決算常任委員会

6月11日の本会議において審査を付託された30年度一般会計・特別会計補正予算について、6月12日に委員会を開き、慎重に審査しました。

(主な審査)

- 平成30年度安芸高田市一般会計補正予算(第1号)
- 平成30年度安芸高田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 平成30年度安芸高田市介護保険特別会計補正予算(第1号)

- 委員長 青原 敏治
副委員長 玉井 直子
委員 議長を除く全議員

30年度補正

一般会計 4791万8千円を増額

(総額 208億3791万8千円)

可決

単位：千円

区分	金額	内 容
施設等の修繕他	27,120	〔庁舎管理費〕 向原支所空調修繕
		〔中学校施設・設備等管理整備事業費〕 高宮中学校電気設備改修(保安検査不適合箇所の改修)
新規実施による補正	17,070	〔企業立地推進事業費〕 高宮工業団地給水対策(道の駅「北の関宿 安芸高田」水源からの給水)
		〔外郭団体等運営指導事業費〕 道の駅「北の関宿 安芸高田」水道設備改修
		〔観光振興事業費〕 「Hiroshima Kagura」文化芸術創造拠点形成事業(インバウンド対策)
		〔定住促進事業費〕 新たな関係人口創出業務(情報発信・交流促進ツール導入)
事業量の増減による補正	3,827	〔企業立地推進事業費〕 サテライトオフィス整備(施工監理費、工事費の増額)
その他	△ 99	〔介護保険特別会計繰出金〕 介護保険特別会計繰出金の減 (平成30年度安芸高田市介護保険特別会計補正予算(第1号))
合計	47,918	47,918

■ 主な質疑

Q 公共施設等の30%削減が進められ、各支所が文化センターに統合される話もある。八千代支所は、八千代文化施設フォルテへ移転されるが、2600万円かけて向原支所を改修するということは、向原支所の移転計画はないのか。支所の統廃合を全体的にどのように考えているのか。

A 向原支所は来庁者や職員のほか、社会福祉協議会やシルバー人材センターが事務室として使用されており、夏や冬に備えた必要な修繕と考えている。支所と文化センターの機能を集約する考え方に変更はなく、八千代支所の移転がモデルケースとなるように進めたい。

増額

2605万



改修される空調設備(向原支所)

■ 概要

特定健診等の制度改正に伴うシステム改修委託料を増額補正するもの。

国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

総務企画常任委員会

6月20日に委員会を開き、議案2件を慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市職員定数条例の一部を改正する条例

○安芸高田市コミュニティ消防センター条例の一部を改正する条例

委員長 穴戸 邦夫
副委員長 山根 温子
委員 芦田 宏治
石飛 慶久
塚本 近
先川 和幸

安芸高田市職員定数条例の一部を改正する条例

消防職員定数 52人→58人

■概要

消防職員の定数を、救急業務技術水準の維持向上のため、専任救急隊を設置するにあたり、52人から58人に増員し、それに伴い安芸高田市職員定数の合計を525人から531人に増員するもの。

■質疑

石飛 29年度主な仕事目標に消防職員数の見直しがあがっていませんでしたが、職員定数の見直しを行うことに至った経緯は、

竹本副市長 昨年度1名の早期退職があり、総務部長を中心に消防本部職員への聞き取り調査を行い、そのうえで組織体制の検討を行ってきた。職員の充足率に関し、県内の水準から見れば不十分と思うが、財政状況を考慮し、最低6人増員で専門的な部署を設置することにより市民の安

心・安全を向上させたい。

山根 専任救急隊の配置は、県内の他市町と比べるとどのような状況なのか。若い方の技術習得とあるが、年齢構成はどうなっているのか。

■近藤消防本部長

県内で専任救急隊を設置していない消防本部は安芸高田市と北広島町のみ。年齢構成は、消防の経験年数10年未満の職員が56%を占める。



交通事故を想定した救助訓練

コミュニティ消防センター条例の一部を改正する条例

■概要

老朽化していた八千代方面隊第4分団の詰所を建て替えたことにより、新たに条例に追加するもの。

■質疑

石飛 詰所の整備計画の進捗状況及び整備状況は。

■神田危機管理課長

美土里方面隊はすべて建て替えを終え、高宮方面隊も新築や大規模改修をしている。八千代方面隊は第4分団と第3分団の建て替えを行い、その他の方面隊については、水洗化等の改修工事を行っているだけで建て替えはできていない。



八千代方面隊第4分団詰所

文教厚生常任委員会

6月21日に委員会を開き、議案2件を慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市税条例の一部を改正する条例

○介護保険法に基づく指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

委員長 秋田 雅朝
副委員長 前重 昌敬
委員 玉井 直子
児玉 史則
青原 敏治
水戸 眞悟

中小企業による設備投資促進へ市税条例改正

■質疑

前重 市の役割は、導入計画の策定になると思うが策定時期は、また、中小企業者へ対しての情報提供は。

稲田 商工観光課長 特別措置法ができたばかりで、国から指針が示されてないため、導入促進基本計画の内容や情報がない。国から示されれば早急に計画を策定する。中小企業への情報提供は、市工業会や商工会を通じて行いたい。

■概要

地方税法の一部を改正する法律の施行並びに生産性革命の実現に向けた、地域の中小企業による設備投資の促進を目的とする生産性向上特別措置法が成立、公布されたことに伴い、先端設備等導入計画を作成し、申請する市内中小企業者に対し、固定資産税の特別措置を一部条例改正し、制度の促進を図るもの。

身体的拘束等の適正化を図るための措置義務を明文化

■質疑

前重 市民、特に被保険者に対して今回の改正でどのようなメリットがあるのか。

岩見 保険医療課長 一番大きなメリットは、入居者の処遇の部分であり、施設における身体的拘束を適正にしなければならぬということが明文化されたことである。

また、共生型のサービスでは、障害者が介護保険の被保険者になられた場合、引き続き施設を利用できるところにもメリットがある。

■概要

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準が一部改正されたことに伴い、該当する条例の一部を改正するもの。改正内容の特徴的なものは、身体的拘束等の適正化のため。

- ①委員会を3ヶ月に1回以上開催し、結果を従業者に周知。
- ②指針を整備。
- ③従業者に対する研修を定期的開催を明文化したもの。



介護保険法一部改正により身体的拘束等の適正化を図るための措置義務を明文化された事業所

産業建設常任委員会

6月22日に委員会を開き、議案2件、陳情1件を慎重に審査しました。

(主な審査)

- 安芸高田市高齢者等活動・生活支援促進機械施設設置及び管理条例を廃止する条例
- 財産の無償譲渡について

(審査した陳情)

- 県道の改良と河川の改修に関する陳情書

委員長 大下 正幸
副委員長 玉重 輝吉
委員 新田 和明
山本 優
熊高 昌二
金行 哲昭

「桑田の庄」 設置・管理条例を廃止 桑田自治会へ無償譲渡

■概要

美土里町桑田地区の伝統芸能や伝統技術の保存伝承を通じて高齢者の知恵と経験を活かすことで、高齢者の生きがいを発揮する場の増加、営農意欲の向上と地域の活性化を図るため、平成13・14年度に新山村振興等農林漁業特別対策事業により整備した、高齢者等活動生活支援促進機械施設「桑田の庄」である。

地域の活動拠点として、高齢者・女性の活動機会及び生きがい発揮の場、農村文化の伝承の場としての役割を担ってきた。また、活動の場の増加により地域での営農意欲等が向上するなど、当該地区における地域活動の活性化に貢献をしてきた。

安芸高田市では、安芸高田市公共施設等総合管理計画に基づき、受益の範囲に限られる施設は譲渡を進め、事業効果による政策補助に転換するとしている。この計画に基づき、市と施設を管理している有限会社桑田の庄及び母体である桑田自治会と協議を行うとともに、広島県及び中四国農政局と財産処分について協議を重ねてきた。このたび財産処分についての認可がされたことから、施設譲渡を前提として設置管理条例を廃止する議案が提出された。

■質疑

金行 法的な問題点はないか改めて確認したい。

■三戸地域営農課長

新山村振興等農林漁業特別対策事業で、国との協議で認められた団体である。

玉重 譲渡先が最終的に経営が成り立たなくなった時、行政の対応は。

浜田市長 廃止・継続も含めて、議論をやり直す必要があると考えている。



陳情

「県道の改良と河川の改修に関する陳情書」

〔陳情者〕 向原町地域振興会連絡協議会 正田 建二 ほか8名

〔要旨〕 県道の改良と河川の改修をお願いします。

※要望箇所

- ・主要地方道 吉田豊栄線
- ・主要地方道 広島三次線
- ・県道 志和口向原線
- ・県道 東広島向原線
- ・一級河川 三篠川
- ・戸島川
- ・見坂川

〔審査結果〕 上記の陳情は趣旨採択となり、市長へ陳情書を通知することとした。

10人が 市政を問う

一問一答

一般質問は発言者本人が文章を作成しています。

インターネット議会中継

みてください！ 一般質問・本会議を

〔視聴方法〕 [市ホームページ](#) → [安芸高田市議会](#) → [議会中継](#)

<http://www.akitakata.jp/ja/parliament/>

※インターネット回線の状況やYouTube社側のメンテナンス、その他ご利用のパソコン環境などにより、正常に視聴できない場合がありますので、ご了承ください。
※当日は視聴できますが、録画中継についてはお時間をいただくようになりますので、ご了承ください。

玉重 事業団・湯治村等へ委託しているが人件費が安い。今後の人員確保を見据

玉重 職員数を削減する一方、外部への業務委託が増加しているが、今後の方向性は。
市長 民間における新たな事業機会の創出、地域雇用の拡大も視野に入れた民間活力の導入を実現させる必要があると考えている。



玉重 輝吉
(無所属)

業務委託

今後の方向性は

市長／地域雇用の拡大も視野に入れ、民間活力の導入を考えている



多くの業務委託に対応・活躍している
公益財団法人安芸高田市地域振興事業団

え人件費を増加し、定住に繋がるような雇用となる業務委託にするべきでは。
市長 行政コストの削減や行政サービスの向上のため、業務の外部委託を行って

玉重 市民は目の前にあらわれるシカ等の抜本的対策を望まれているが。
市長 川の隠れ家である樹木の伐採等、国土交通省に強く要望していく。

鳥獣害対策

いる。委託料の積算については、基準に沿っておこなっている。

宍戸 農と福祉を結び付けた行政施策を推進し、高齢者が生産した野菜等を農家に出向いて収集する仕組みがでないか。
市長 農産物の集荷や運搬等に多大な労

宍戸 後期高齢者の入院時における保険外負担料金への助成がでないか。
市長 紙おむつ代など大変な負担であるが、厳しい財政でもあり非常に難しい。



宍戸 邦夫
(無所属)

高齢者福祉

入院時の保険外負担料金への助成は市長／非常に難しい



入院時の保険外負担の軽減に向け行政は

宍戸 過疎計画の推進状況と過疎法延長

過疎地域自立促進計画

力やコストが発生する課題があるが研究してみたい。

市長 本市の過疎計画では、生産・生活基盤など全般にわたる非常に有利な財源として過疎債を活用し、各種施策を着実に実施している。過疎法の延長見通しは、国は新たな過疎対策について検討を進めようとしている。国の動向に注視し要望活動を進める。

新田 ICT授業の今後の方向性は。
教育長 現在、学校運営会議でコミュニケーションスクール立ち上げの準備を進めている。地域のICT人材を活用し、授業支援をいただくシステ



新田 和明
(無所属)

地域のICT技術者との連携はICT教育の今後について教育長／授業支援のシステムを構築したい

新田 本市独自の研修は。
教育長 若い教職員向けに安芸高田未来塾を設置。子ども達が豊かな人生を切り開けるような教職員

新人教職員の資質向上プログラム

ムを構築していきたい。

SNSによるいじめ相談受付

新田 LINEで相談センター開設は。
市長 有効な手段と考えるが、国や県の動向にも注視していきたい。



ICT授業の様子

を育てるため、全力を尽くす考えである。

水道施設の老朽化は

市長／施設の統廃合と耐震化など検討する



日常生活に直結している浄水場



金行 哲昭
(無所属)

金行 人口減少時代の公共施設、老朽化したインフラだが、特に水道管の更新、浄水場の改良、新設の計画は。

市長 本市の施設は、老朽化が進んでおり部分的な補修をして

いる。配水管の更新は漏水の多発する区間から優先的に行っている。施設は現在策定中の水道ビジョンで将来の水需要等の推計をもとに検討している。

地方財政について

金行 国は財政調整基金の積み上げを大きな問題としており、交付税に影響が懸念

されるが、臨時財政対策債の借り入れや償還の見込みは。

市長 総務省では基金の増加を理由に地方財源の削減は考えられない。本市の基金額は適正であり、臨時財政対策債は後年度、地方交付税で全額措置され、今後とも借り続ける。

財政健全化

財政健全化による収支状況と今後の施策展開は

市長／人口減少対策が財政対策、基金を適切に活用



山根 温子
(無所属)

山根 健全化方策を織込めば33年以降は安定というが、財政調整基金の減り方からはさらに変な状況が待ち受けている。

市長の今後の施策展開が大きな影響をもたらすのでは。

市長 人口減少対策の学力向上・地域就業の確保・子育て支援などが大きな財政対策となる。基金を適切に活用し自治体経営の確立に努める。

人口減少下での地域づくり

山根 人口減少下での地域づくりは。

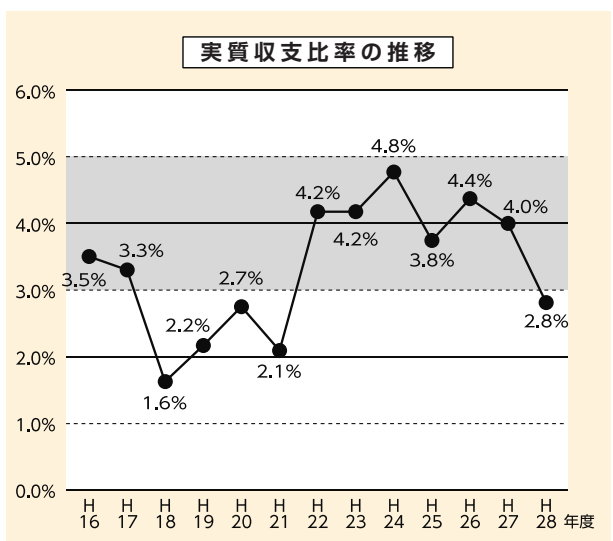
市長 自らの手で地域を住みやすく魅力的にする住民視点の

教育と福祉の連携は

山根 子育てには切れ目のない支援が必要だが中学卒業時の不登校生はこの10年間で77人。対応は。

教育長 一律的な対応は難しく、ケースバイケースで対応している。

取組みが課題。市と振興会が一緒に解決に向かえるよう支援。



3%～5%程度が望ましいとされている実質収支比率

青原 子育て支援、若者定住につながるのでは。
市長 要る要らないと言う解釈で、住民と対話しながら、次の展開をしたいと思う。

青原 農村公園の管理・運営について。
市長 利用実態を確認し、必要かどうかも含めて検討し、必要であれば市の管理も少し考えていきたい。



青原 敏治 (無所属)

青原 屋外スピーカ―設置について。

防災について

農村公園

農村公園の管理・運営は

市長／必要であれば市民と対話



市内の農村公園

市長 屋外スピーカ―を設置して、放送網を整備するには、初期投資費用や維持管理費など、膨大なお金がかかる。財政的な面を考慮する必要がある。

芦田 市の人口ビジョンでは、27年の人口が10年後に3350人減少すると推計されているが、人口減対策により推計より1200人プラスするとしている。目標を達成しても人



芦田 宏治 (無所属)

人口減少対策

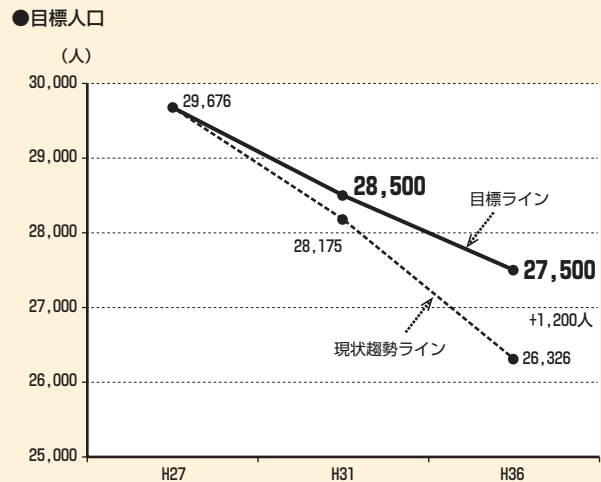
職員定数の削減と合理化は

市長／人口と財政の状況を注視し将来にわたっての見込みを立てる

口は約2150人減少する。人口が減っても今までと変わらない行政サービスをを行うには歳出の抑制が必要。職員定数の削減と合理化をどう考えているか。
市長 職員の定員管理に当たっては、人口と財政の状況を常に注視し、他の自治体との比較も行いながら、将来にわたっ

ての見込みを立てていく必要がある。今年度中に第4次定員適正化計画を策定したいと考えている。適正化のための方策については、人面では適材適所を、また業務面では事務事業の見直しや委託の働き方改革なども積極的に取り入れていきたい。

総合計画における目標人口



出典：日本の地域別将来推計人口（平成25年3月、国立社会保障・人口問題研究所）に基づき作図

安芸高田市人口ビジョン

交流人口増加対策

民泊・農泊推進で人口減対策を

市長／新たな観光スタイルとして推進に取り組む



秋田 雅朝 (無所属)

秋田 「民泊新法」施行に伴い民泊が解禁となるが、宿泊施設が少ない本市では多文化共生も含め、波及効果が期待できると考えるが見解は、市長 市外からの観光客の宿泊増に期待



個性ある民家を活用して民泊・農泊推進を

し、新たな観光スタイルとして有望であると考えている。この法律施行を機に、民泊の推進に取り組むたいと考えている。

秋田 農泊は地方の過疎化・空き家対策の解決等、地方活性化に繋がると考えるが、更なる取り組みを検討されてはどうか。市長 農泊は、都市と農村の交流を促進

し、農業体験により本市をもっと知ってもらい良い方法だと考える。重要な観光資源として、民泊の推進と合わせて取り組んでいく。

○**その他の質問**
 ○新たな森林管理制度を創設する「森林経営管理法」成立に対する取り組みは。

安全・安心

消防本部組織体制の充実には市長／新たに専任救急隊を設置



前重 昌敬 (無所属)

前重 消防本部組織体制の現状と課題は。市長 本年4月1日

現在、職員数52人、勤務体制は毎日の勤務者が20人、交替制勤務者が32人で、火災・救急等の災害に対応している。この現状に対する課題は、高度化、専門化する技術に対応困難、次に若年職員の経験不足、最後に女性活躍の場が十分でないことである。

前重 今後消防本部としての見直し、方向性は。市長 消防職員の定数を52人から58人に増員し、新たに専任救急隊を設置するこ

とで、隊の役割が明確化し、特化した業務の遂行と重点的・効果的な訓練が可能となる。また、危険な業務との区別化を図ることで、現場活動を目指す女性の活躍が期待できるなど、この取り組みを通じて、市民に安全・安心を一層実感頂けるよう努めていきたい。



新たに専任救急隊を設置する安芸高田市消防本部

旧三江線は

熊高 多文化共生推進事業の成果と課題は。
市長 多文化共生推進員等の相談体制強化により、外国人市民の持ち家取得14戸となった。現状は国や県の制度が確立していないため独自の取り組みとなっている。
熊高 SDGsを柱に本市らしい多文化共生社会を望む。



熊高 昌三 (無所属)

多文化共生について

本市第2次多文化共生推進プランについて
市長 / 第1次を踏まえて成果と課題を整理

熊高 代替バス運行後の道路整備と資産活用は。
市長 早い時期に市民と協議の場を作る。

中学校教育

熊高 中学校の教員

○水防対策の再確認。

(その他の質問)

人口減対策

熊高 地域ごとの具

市長 人口減対策と定住施策について分析が不十分で定住につながる仕事づくり等を早急に検討する。

不足による影響は。
教育長 学力低下等の調査を行い、万全の体制を作る。



人材・経済・環境の3つがキーワードのSDGs

表彰

全国・中国市議会議長会 議員表彰

○全国市議会議長会表彰

- 議員20年 : 青原 敏治
- 議員15年 : 熊高 昌三 秋田 雅朝
- 議員10年 : 穴戸 邦夫

○中国市議会議長会表彰

- 議員20年 : 熊高 昌三 塚本 近
- 議員16年 : 秋田 雅朝

※合併前の議員在職年数の計算方法が異なるため、全国市議会議長会表彰と中国市議会議長会表彰の表彰年数が異なります。

平成 29 年度 政務活動費収支報告

条例に基づき、議員の調査研究・活動に要するために必要な経費の一部が交付されます。
安芸高田市では、議員個人に月額 3 万円交付されています。

14 名に 504 万円を交付 296 万円を支出 208 万円を市へ返納

(単位：円)

氏 名	交 付 額	支 出 額	支 出 内 訳				残 余 金 (返納額)
			調査研究	研 修 費	広 報 費	資料購入費	
新田 和明	360,000	0	0	0	0	0	360,000
芦田 宏治	360,000	332,535	98,840	208,924	0	24,771	27,465
玉重 輝吉	申請なし	—	—	—	—	—	—
玉井 直子	360,000	305,489	52,860	241,205	0	11,424	54,511
山根 温子	360,000	360,000	52,860	287,778	0	25,740	0
前重 昌敬	360,000	360,000	58,256	273,382	0	29,712	0
石飛 慶久	申請なし	—	—	—	—	—	—
児玉 史則	申請なし	—	—	—	—	—	—
大下 正幸	360,000	39,876	0	0	0	39,876	320,124
山本 優	360,000	154,597	56,742	45,165	0	52,690	205,403
熊高 昌三	360,000	238,366	0	58,468	0	179,898	121,634
穴戸 邦夫	申請なし	—	—	—	—	—	—
秋田 雅朝	360,000	319,295	58,406	229,413	0	31,476	40,705
塚本 近	360,000	138,716	98,840	0	0	39,876	221,284
金行 哲昭	360,000	188,350	0	147,850	0	40,500	171,650
青原 敏治	360,000	104,438	0	63,086	0	41,352	255,562
水戸 眞悟	360,000	182,994	182,994	0	0	0	177,006
先川 和幸	360,000	238,616	98,840	41,070	67,230	31,476	121,384
合 計	5,040,000	2,963,272	758,638	1,596,341	67,230	548,791	2,076,728

※政務活動費を使用した活動による支出額が交付額（年間36万円）を超えている場合は、交付額を記載しています。（超えた部分は自己負担です。）

※すべての支出について、領収書等で確認をしています。

※ [市ホームページ](#) → [安芸高田市議会](#) のページへも掲載をしています。

議会のうごき 4月～6月の議会の主な活動状況

4月

- 5日 議会運営委員会
- 11日 議会広報特別委員会
- 17日 議会運営委員会
- 19日 全員協議会
- 26日 議会広報特別委員会
- 27日 全員協議会（臨時）

5月

- 9日 議会運営委員会
- 21日 全員協議会
- 23日 総務企画常任委員会
- 24日 文教厚生常任委員会
- 29日 産業建設常任委員会

6月

- 4日 議会運営委員会
- 11日 第2回定例会(開会)
議会広報特別委員会
- 12日 予算決算常任委員会
- 15日 本会議（一般質問）
- 18日 本会議（一般質問）
- 19日 全員協議会
道の駅整備調査
特別委員会
- 20日 総務企画常任委員会
- 21日 文教厚生常任委員会
議会運営委員会
- 22日 産業建設常任委員会
- 26日 議会運営委員会
第2回定例会(最終日)
- 27日 議会広報特別委員会
高校生との意見交換会
(向原高校)

■30年第3回定例会は9月上旬から開会を予定しています。

※詳細は、お太助フォンや市のホームページでお知らせいたします。

傍聴記

吉田町
立川 暁宏さん

安芸高田市議会一般質問には毎回傍聴に行っています。全国的に人口減少が問題になっていきます。本市でもいろいろと対策を行っていると答弁がありました。人口に見合う職員の配置についての質問がありました。市長さんは、他の市町と比較するのではなく本市に見合った適正な配置をすることでした。そこで議員さんも人口に見合った定数にすべく、ぜひ皆さんで取り組んでいただきたいと思います。期待しています。

吉田町
野上 正美さん

2人の議員の一般質問でした。特にICTと教育関連には関心があり、身を入れて聴かせて頂きました。もっと予算のウエイトをハード面の整備から、ビジョンの作成、人材育成や人材確保等を含むコーデイナー等、ソフト面にウエイトを掛けるべきだと感じました。また、過去の事業の評価が表面的だと感じました。他方、具体的な分析とビジョンの提示によるアプローチで成された意欲ある質問があり、説得力がありました。

早急な対応、復旧を



市内行方不明者の搜索体制 7/16 現在

(人)

	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
警察		38	10	12	12	6	6	6	4	14
自衛隊					14		8	10		
消防署	10	7		7	8	8	9	6	3	12
消防団	20	69		65	69	82				
市役所	1	2		3	3	3	1	1	1	1

※15日以降は引き続き警察・消防署等により搜索。

各地で甚大な被害



被害の状況（人及び住家のみ） 8/1現在

被害区別	内 容		
人的被害	死者	高宮町1・向原町1	2人
	行方不明	向原町1	1人
住家被害	全壊	高宮町1	1棟
	半壊	向原町1	1棟
	床上浸水	甲田町11・向原町8	19棟
	床下浸水	吉田町13・八千代町1・高宮町2・甲田町42・向原町36	94棟

※住家とは日常的に居住のために使用している建物をいい、納屋、倉庫等は含まれていません。

地域のかがやき

吉田 地域の絆、バトンで次世代へ



第40回可愛地区町民運動会(6月3日)

八千代 佐々井地区ホタルまつり



安森・上佐々井区元気になろう会主催(6月9日)

美土里 安心・安全を担って



美土里方面隊第3分団訓練

高宮 地域住民の生命と財産を守るため 日々の訓練の成果を発揮!



安芸高田市消防団高宮方面隊団長査閲(7月1日)

甲田 今年も頑張りました!!



大土山田楽大花田植(6月3日)

向原 読み聞かせボランティア 頑張ります



きらきら絵本館の皆さん

7月「大雨特別警報」が出され数十年に一度という豪雨が西日本に、そして市内各所に大きな爪痕を残しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。

災害時には信頼できる情報が、迅速・的確・確実に市民の皆様へ届くことが求められます。年4回発行の議会だよりは、市民の代表としての議員・議会の活動を読みやすく、わかりやすく、そして議会が身近に感じられるようにと、第57号から一般質問の字数を270字から330字に増やしています。小さな改善ではありますが、市政の動きを知る情報源としてこれからもご拝読よろしくお願いたします。

(山根温子)

〈発行責任者〉

議長 先川 和幸

〈議会広報特別委員会〉

委員長 山根 温子

副委員長 玉重 輝吉

委員 新田 和明

芦田 宏治

玉井 直子

前重 昌敬

編集後記

